



往還風景

フラダンス

2月16日

フラダンス曲目

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. ラハイナ・ルナ | 8. マキーアイラナ |
| 2. プアミキノリア | 9. メレアカプウヴァイ |
| 3. ポーライライ | |
| 4. 川の流れるように | ♪ |
| 5. いつでも夢を | |
| 6. リトルブラウンギャル | |
| 7. パパリナラヒラヒ | |

レア・ハワイのみなさんに
華麗な踊り（フラダンス）を披露していただきました。



さあ、次は
私たちが
踊ります。

フラダンス
か??ええも
んやなあ!



3月のクラブ活動

- | | |
|---------|---------|
| 3日 (木) | 書道クラブ |
| 10日 (木) | 手作りクラブ |
| 15日 (火) | カラオケクラブ |
| 22日 (火) | カラオケクラブ |
| 24日 (木) | お花クラブ |

3月の行事

- | | | |
|---------|----------------|------------------|
| 24日(水) | 音楽療法 | 3階、ショート、ディサービス対象 |
| 28日(水) | 音楽療法 | 2階、ショート、ディサービス対象 |
| 9日 (水) | 踊り (日本舞踊) | pm14:00 |
| 19日 (土) | プラスバンド (川越中学校) | pm14:00 |

バレンタインデーの日のおやつ

おやつにバレンタインデー用のかわい
いお饅頭ができました。



かわいい
饅頭!
食べるのが
もったいな
いくらい

お雛様特別食

3月3日



ひな寿司
春野菜とエビの桜葉揚げ
菜の花とアサリの梅味噌和え
蓮根団子のすり流し碗
季節の和菓子

七段飾りのお雛様登場



あかりをつけま
しよぼんぼりに
お花をあげましょ
ももの花・・・
♪♪♪

いつみてもいいも
のですね!



前回、考え方の基本となる4項目について述べましたが、今回からは個々の項目について紹介します。

1)医学的適応(Medical Indication)

病気に対しては専門家である医師が主導権を持つのは当然ですが、俺に任せておけてはなりません。

医師の使命として疾患の情報提供という役割を果たすことです。

1.診断と予後

診断と治療した場合のQOLも考慮した予後の予測は、倫理的判断の重要な根拠となります。

EBM(根拠に基づいた医療の略語)は最近盛んに用いられるようになりましたが、実際の臨床では患者の特殊性や正確な診断ができないままに治療を進めなければならないなど、不確定な要素も多いのが現実です。

2.治療目標

治療目標として以下のような項目があげられますが、その症例でどの目標が優先されるのかを考えます。

- a.健康を増進し、病気を予防すること
- b.症状、痛み、苦しみを緩和すること
- c.病気を治療すること
- d.予期しない死亡を防ぐこと
- e.機能を改善する。あるいは安定している状態を維持すること
- f.病状や予後について患者を教育し、相談にのること
- g.ケアを受けている患者に害を与えないこと

3.医学の効用とリスク

検査や治療の効果と患者の苦痛、副作用との兼ね合いを考えて、患者にとって最高の益になるような方法を検討します。

4.無益性

どのような状態の場合の治療を、治療の意味がない無益な治療と呼ぶのかについて、日本ではきちんとした取り決めがありません。しかし、医療費の無駄などが叫ばれている今日、改めて考え直す必要があります。

こめだ腎・泌尿器科 米田 勝紀

編集部より

今年は雪の降る日が多く寒い日が続きましたがお天気がいいと暖かく感じられる日も増えてきました。

3月になり、ようやく春もそこまでやってきた様です。体調を崩しやすいこの時期、手洗い、うがいを励行して元気にこの季節をのりきましょう。

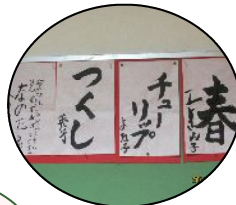
クラブ作品紹介

手作りクラブ

ネックレスとキーホルダー



書道クラブ



お花クラブ

春の花が勢ぞろい!



花材

桃の花
フリージャ
チューリップ
菜の花
大葉

ワンポイント

今日から始める、簡単お口のケア アドバイス



肺炎のチェックポイント

肺炎は、1位/がん、2位/心疾患、3位/脳血管障害に次いで、日本人の死亡原因の4位に入る病気です。特に高齢者に多く、統計によると、肺炎の死亡率の9割以上が65歳以上の人です。

風邪の合併症として起こることもあれば、口腔内の細菌が気づかないうちに肺に入って炎症を起こす誤嚥性肺炎や、ほとんど熱が出ない無熱性肺炎もあります。

高齢者の肺炎は、とてもおそろしい病気であり、発見が遅れると手遅れになるので、早期に治療することが大切です。特に寝たきりの人や嚥下障害がある人は、普段から次のような症状に注意を払うようにしてください。

- ・いつもと変わった様子はないか。
- ・顔の表情に生気はあるか。
- ・顔色に変わりはないか。
- ・寒そうな顔をしていないか。
- ・せきやたんは出ていないか。
- ・食欲はあるか。
- ・微熱が続いていないか。
- ・目の動きはどうか。
- ・目のつやはあるか。
- ・息づかいが荒くないか。
- ・呼吸の回数は多くないか。など

気になる症状があれば、早めに医師に連絡をしましょう。

日頃から様子をしっかりと見守って、予防を心がけてください。

歯科衛生士 水谷 敦子